

事業所名

放課後等デイサービスLincle

支援プログラム

作成日

2025年

3

月

17日

法人（事業所）理念	子ども一人ひとりの個別のニーズに合わせた支援を行い、将来の自立や就労を視野に入れて療育を行う。児童の主体性と個性を尊重し、様々な場面において可能な限り自己決定できるよう支援する。						
支援方針	主体的に日常生活における基本的動作及び知識技能を習得できるように支援する。生活能力の向上のために必要な経験ができるような環境を提供し、当該児童の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて個々に合わせた指導及び訓練を行う。将来の就労を視野に入れた支援を行う。						
営業時間	15時	0分から	17時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	来所時に手洗いを行う等し自身の健康管理に意識を向けられるようにします。体調面・精神面からのしんどさを感じた時に周囲に伝えられるように声掛けの仕方を助言したり発言しやすい環境作りをします。自身で健康状態を把握する事で心身の健康に繋がっていきます。また、トイレの後や鼻をかんだ後に手洗いが必要な事を指導し清潔面の意識を持てるようにします。また、毎日歯磨きをすることや寝ぐせを直す、季節に応じた服装を着る等を助言し、身だしなみの面でも日々の生活の中で定着していけるようにします。					
	運動・感覚	指先のトレーニングとして、パソコンやホッチキス止め、ファイリング等を行い微細運動を意識しながら将来の仕事に繋がるような活動をしていきます。運動面では個々の状況に応じてストレッチ等を行い身体の動かし方や体幹、バランス感覚を習得できるようにしていきます。「この感覚は良い感覚」「この感覚は嫌な感覚」と、自分で理解をすることで感覚の整理に繋がられるように支援していきます。					
	認知・行動	お金の計算やタイマーを使用しての時間の把握、カレンダー等を使ってのスケジュール管理等を取り入れ認知機能の発達を促していきます。初めてのことにチャレンジする力を育て、自発的に取り組む方法を見つけられるような助言をします。児童各々の認知の特性を踏まえ、自分にとってくる情報を適切に処理できるよう支援します。					
	言語 コミュニケーション	自分のしたいことを伝える、手伝ってほしい時に援助を求めるなど、生活の中で必要不可欠な行動を適切な場面で発揮できるように、状況に応じたコミュニケーション方法や代替の活用を用いたりしながら自分を表現する力を身に付けていきます。たくさんの語彙に触れ、多様なコミュニケーション手段を工夫しながら、環境の理解と意思の伝達ができるための手助けをしていきます。					
	人間関係 社会性	「人の意見を聞く」「ルールを守る」「勝ち負けの結果を受け止める」「相手の立場になって考える」「自分で行動を起こす」等のSSTを行い、他者と関わりながら生きていくための基盤を築けるようにします。友達との関わり方に関して、職員が見本を見せたり、助言したりして、肯定的な関わりが増えるよう支援します。社会性の発達を促し、将来の自立に向けた準備を整えていきます。					
家族支援	懇談会や療育見学、個別相談、療育後のフィードバックを実施します。			移行支援		必要に応じて相談支援事業所と連絡を取り連携します。次の進路に向けての相談に対応します。グループ内の福祉サービスの情報提供を行い、選択肢を広げます。	
地域支援・地域連携	学校や病院、関わりのある他機関等と必要に応じて連携していきます。			職員の質の向上		利用児の情報共有を行い職員間で確認できるようにします。法人として同じ方向を向き支援できるように職場環境作りをします。新入職員研修、法定研修、ケース会議等を実施します。	
主な行事等	四季を感じられるよう季節に応じた行事を行います。						